

研究会開催通知

(昭和53年1月15日～2月28日)

研究会	日	時	会場	備考
データベース管理システム	1月17日(火)	14:00～17:00	機械振興会館	前号参照
イメージ・プロセッシング	1月17日(火)	13:30～17:00	日本アイ・ピー・エム	同上
コンピュータ・ネットワーク	1月18日(水)	14:00～17:00	機械振興会館	同上
人工知能と対話技法	1月20日(金)	14:30～17:00	学士会分館	同上
ソフトウェア工学	1月26日(木)	14:00～17:00	機械振興会館	同上
記号処理	2月9日(木)	14:00～17:00	日本クリスチャン・アカデミー	下記参照
	2月10日(金)	10:00～14:00	京都産業大学	
人工知能と対話技法	2月17日(金)	15:00～17:00	電子技術総合研究所	同上
計算機アーキテクチャ	2月22日(水)	9:00～17:00	機械振興会館	同上
計算言語学	2月24日(金)	14:00～17:00	同上	同上

◆ 第3回 記号処理研究会

(主査: 淵 一博, 代表幹事: 竹内郁雄, 佐々木建昭, 田中穂積)

日 時 昭和53年2月9日(木) 午後2時～5時

2月10日(金) 午前10時～午後2時

会 場 第1日目, 日本クリスチャン・アカデミー 関西セミナーハウス

〔京都市左京区一乗寺竹の内町23, 京都駅前より市バス⑤⑥⑥に乗車, 「修学院道」下車徒歩20分, タクシーの場合「一乗寺下り松を経て曼殊院の北隣り」Tel. 075(711)2115〕

第2日目, 京都産業大学 理学部2号館4階201教室

〔京都市北区上賀茂本山, 京都駅前より市バス⑨に乗車, 「御園橋」下車, 橋を渡って川上へ歩き, 京阪バス「上賀茂」乗車, 「産業大学前」下車, Tel. 075(701)2151〕

議 題 (1) LISP の関数類とそのプログラムのチェックとコンパイルへの活用
黒川利明 (東芝・総研)

〔概要〕 LISP の関数型を拡張した関数類を考える。これを用いてプログラムに誤りがないかどうかのチェックとコンパイル時の効率向上を考える。

(2) 会話型 LISP の実現とその grammatical inference への活用

太田義勝, 中山 晶, 吉田雄二, 福村晃夫 (名大・工)

〔概要〕 INTERLISP の特徴をとり入れた会話型 LISP を実現した。このシ

システムの概要と線図形生成文法の推定システムへの応用を述べる。

- (3) REDUCE 上での一変数有理式の積分 元吉文男 (電総研)
〔概要〕 数式処理システム REDUCE 上に一変数多項式の因数分解と有理式の積分プログラムを作成したので報告する。

(以上 1 日目の議題)

- (4) FLATS FORTRAN 77 の使用感と処理系 稲田信幸 (東大・理)
〔概要〕 FORTRAN 77 言語批判, LISP で記述されたコンパイラの内部構造, および使用した感想を述べる。

- (5) 数式処理言語 AL の改良と応用について
小田泰充, 今福幸春 (電電・横須賀通研)
〔概要〕 AL の多項式表現に, ターナリセルとハッシュ表を利用した再帰的階層構造を導入した。応用例として記号行列式計算の直接展開法を提案し, GAUSS 消去法と比較する。

- (6) Logical Program Synthesis の Implementation (パイロット 1) について
琴野 実, 大村伸一, 宮沢君江 (京産大)
〔概要〕 ここでは, LPS の概要, 並びにその Implementation について述べ, さらに Refinement の方法についてふれ, 改良された System の Demonstration を行う。

1 日日夜, 同会場で拡大研究連絡会を行います。参加される方には夕食, あるいは宿泊の幹旋をします。必ず前もって代表幹事竹内郁雄 (武蔵野通研 Tel. 0422(59)3083) までご連絡下さい。また 2 日目終了後ただちに京産大の計算機システム (INTERLISP など) の見学会を行います。

◆ 第 4 回 人工知能と対語技法研究会

(主査: 田中幸吉, 代表幹事: 白井良明, 田村進一)

- 日 時 昭和 53 年 2 月 17 日 (金) 午後 3 時~5 時
会 場 電子技術総合研究所 A 会議室
〔東京都千代田区永田町 1-11-32, 地下鉄: 有楽町線永田町下車徒歩 2 分, 丸ノ内線国会議事堂下車徒歩 3 分, Tel. 03 (580) 0311〕
- 議 題 (1) FLISP とその応用について 安部憲広, 辻 三郎 (阪大)
〔概要〕 FLISP のコルーティン機能とそれを応用した人工知能的パッケージについて述べる。
(2) 演繹型データベース——人間の知識の計算機への移植
大須賀節雄, 山内平行 (東大)
〔概要〕 知識表現とそれを利用する演繹アルゴリズムを備えたデータベースについて述べる。

◆ 第 22 回 計算機アーキテクチャ研究会 (主査: 相磯秀夫, 代表幹事: 所真理雄)

- 日 時 昭和 53 年 2 月 22 日 (水) 午前 9 時~午後 5 時
会 場 機械振興会館 6 階 67 号室
〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 都営 1 号線大門, 都

欧文誌“JIP”の創刊と頒布について

欧文誌“Journal of Information Processing”(略称 JIP, 季刊, A 4 判, 50 ページ)は本年 3 月に第 1 巻第 1 号を発行することとなりました。

本学会創立の 1960 年以来発行してきました“Information Processing in Japan”は、その前年に学会誌「情報処理」に掲載された論文のなかから、とくに海外発表にふさわしい論文をえらび、各 5~6 ページにまとめ、年 1 回発行してきました。

ところで、最近は、情報科学の急激な発展と応用のドラスティックな展開により、これまでの英文誌のような 2 次文献的な論文発表の方法では、時流に全く合わないことは論をまちません。またこれまでのわが国の傾向としては、優秀な論文は、海外の著名な学会誌を通じて発表し、逆に輸入する形式になるのを常といたしましたが、戦後 30 年を経た現在、やはり自分たちの力で欧文誌をつくり、「よりよい論文の真価を、できるだけ早く世界に問う」という道標をかかげて、新進気鋭の研究者を育成することは、今や日本の全学会の急務と考えられます。

幸い、本学会は、すでに正会員が 10,000 名をこえ、世界に名を得た優れた会員を多数擁しておりますので、ここに欧文誌の発行に踏み切ったわけです。

つきましては、大きな抱負にいだかれて新しく生れる欧文誌をはぐくみ育てる意味で、積極的な論文の投稿のみならず、進んで購入登録くださいますようお願い申し上げます。

1. 購入申込み方法

- 本会会員 3,000 円, 非会員 (国内) 6,000 円, 海外一般 7,000 円 (いずれも年額)
- 裏面「欧文誌“JIP”購入申込書」により、送金方法など必要事項を明記のうえ、「情報処理学会欧文誌係」宛お申し込みください。

2. Journal of Information Processing, Vol. 1 (1978), No. 1 の目次

- 創刊の辞
会長あいさつ..... Mamoru Hosaka
編集委員会あいさつ..... Toshio Kitagawa, Yutaka Ohno
- Planning for information oriented society in Japan Hiroshi Inose
- Analysis of memory management strategies for
multiprogrammed virtual systems Takashi Masuda
- Analysis of parallel hashing algorithms with key deletion... Tetsuo Ida, Eiichi Goto
- On teaching the art of compromising in the development of
external specifications..... Izumi Kimura
- A scheme to execute the dynamic linker as
a non-privileged procedure..... Katsuo Ikeda
- A gate placement algorithm for one-dimensional arrays
..... Tetsuo Asano, Kokichi Tanaka
- Abstracts from “Joho-shori”
- Events in Japan

昭和 年 月 日

欧文誌“JIP”購入申込書

欧文誌“Journal of Information Processing”の購読を下記により申し込みます。(該当欄を○印でかこむ)

1. 氏名 _____ 会員 (正, 学生, 賛助)・非会員

連絡先 _____

_____ 電話

発送先 _____

2. 購入希望

会 員 @ 3,000 円× 冊 = 円

非 会 員 @ 6,000 円× 冊 = 円

海外一般 @ 7,000 円× 冊 = 円

3. 送金の方法

¥ _____ 也をつぎによって送金いたします。

現金書留

郵便振替

銀 行 (三菱, 第一勧業, 住友の各虎ノ門支店, 三井日比谷支店
情報処理学会普通預金口座)

4. その他 (学会事務局への連絡事項)

欧文誌の原稿募集について

本年3月より欧文誌“Journal of Information Processing”を発刊いたします。同誌に論文発表を希望される会員は、下記を参照のうえ原稿を寄せられるようご案内いたします。

記

1. 欧文誌発行の目的

わが国の情報処理の研究水準向上のため、情報処理に関する諸研究の国際交流をはかる。

2. 発行計画

(1) 50ページ×4回/年=200ページ, A4判

(2) 純学術研究発表誌とし、Paper と Short Note を募集する。

(i) Paper (原則として8ページ以内)——「情報処理」掲載の論文と同じ査読基準に基づき、欧文誌編集委員会で採録を認められた欧文論文。

(ii) Short Note (2ページ以内に限定)——「情報処理」掲載のショート・ノートに準じて、採録を認められた欧文による小論文。

3. 「情報処理」との関連

Paper と Short Note の和文アブストラクトを「情報処理」に掲載する。

4. 論文原稿の書き方

(1) 用紙はA4判(21cm×30cm)の白紙を使い、1行65ストローク、ダブルスペースで上下3cm(強)の余白を残し、パラグラフは初めを5~6字分あける。この様式で原稿をタイプした場合(図表なしで)24枚で、欧文誌刷上り8ページに当る。なお文章中指定のない場合の記号は立体、数式中の記号は斜体(イタリック)となる。

(2) 査読の都合上、タイトル、氏名、所属およびアブストラクトを和英両語で別紙に記述する。なお和文アブストラクトは英文アブストラクトの邦訳とする。

(i) Paper のアブストラクト——200語以内

(ii) Short Note のアブストラクト——50語以内

(3) 図表(写真を含む)は、完成図(そのまま縮小製版できるもので、縮版した場合の希望のできあがり寸法を指定する。なお、文字は縮版のさいも読める大きさに書く。)を本文と別にし、説明文は別紙にまとめてタイプし、本文の末尾につける。ただし原稿中に図表のそう入場所を指定する。

5. 原稿の送付

(1) オリジナル原稿とコピー3部、計4部を送付する。

(2) 送付先: 情報処理学会「欧文誌係」

〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 号

6. 別刷料

下記の通り別刷100部を印刷実費の一部として、ご負担いただきます。

ページ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
別刷料	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	55,000	70,000